

1

世界とかかわる私

日本に生きる私たちは、どのように世界との関係を築いていけばよいのでしょうか。



① 世界文化遺産サグラダ・ファミリア
(現在も建築中, 右上写真)の主任彫刻家,
そと おえつろう
外尾悦郎さん(スペイン・バルセロナ)

12~13-1



② 外国人シェフに「だし」について
教える料理人の村田吉弘さん(右)
(京都府京都市)



他に海外で活躍
する日本人を探
してみよう。

12~13-2

進む グローバル化

私たちは日本にいながらにして、世界中の料理を食べることができ
ます。外国のブランド品を身につけ、海外のニュースを瞬時に知ることができ
ます。外国のブランド品を身につけ、海外のニュースを瞬時に知ることができ
ます。

現代の世界は、交通の発達と世界中に張りめぐらされたインターネットなど情報通信技術(→p.14)の進歩によって、ヒト・モノ・カネ・情報などが、国境にとらわれることなく活発に行き交っています。世界の国々は、政治的、経済的、文化的、そして環境的にも緊密に結びつくグローバル化の時代をむかえました。

経済の面では、グローバル化が進むことによって、どの国も貿易を活発に行い、自国で調達できないものや足りないもの、

12~13-3

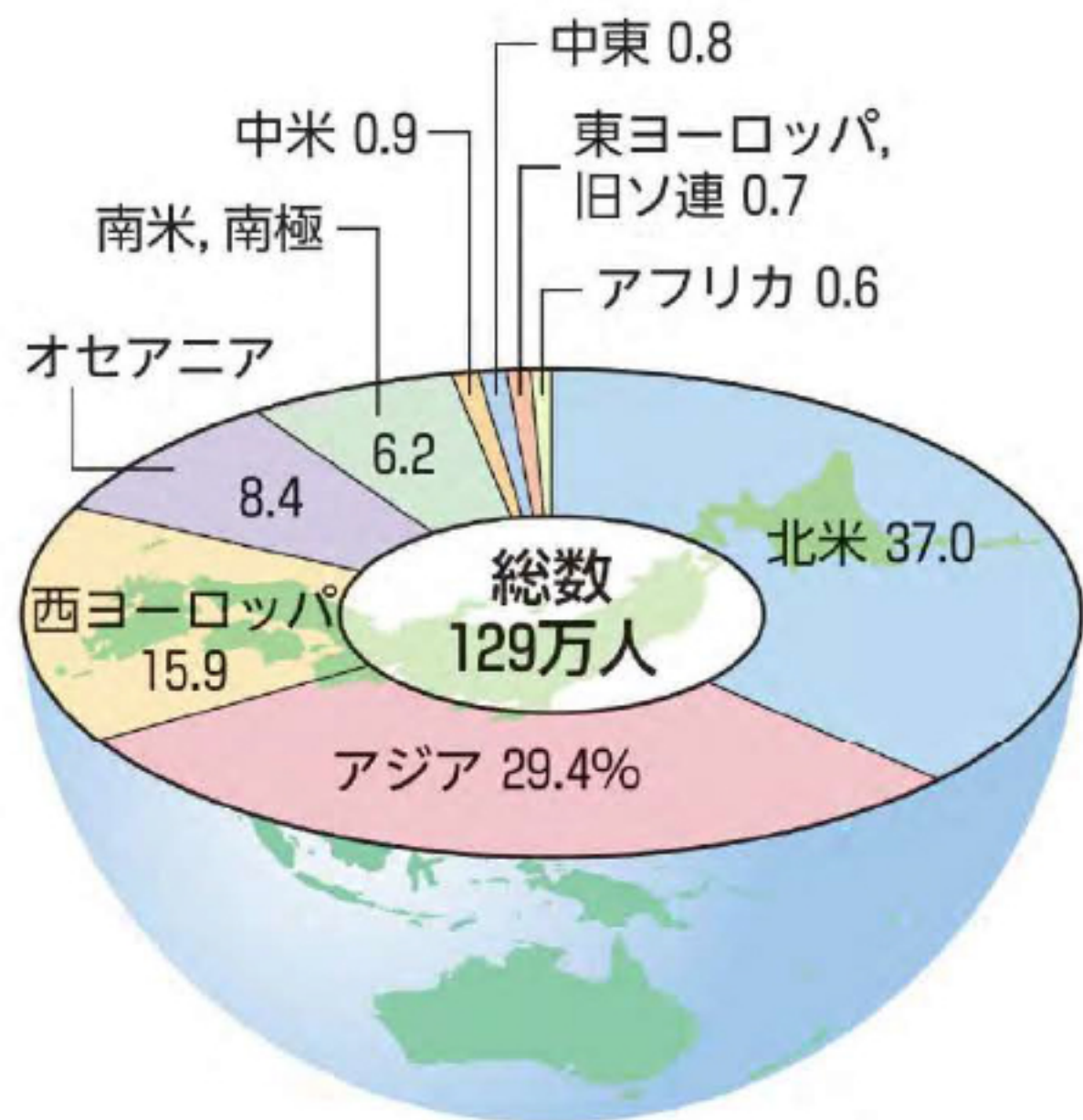
効率よく生産できないものなどを補っています。

日本のように、精密な機械製品や電気製品を生産することにすぐれた国もあれば、石油などの天然資源が豊富で、世界に大量供給できる国もあります。各国がより得意な分野の商品を輸出し、他国からそうでない商品を輸入することを国際分業といいます。

グローバル化によって国際分業の幅が広がり、各国間での自由な貿易(自由貿易)が行われ、経済面での国際競争がいつそう活発になりました。

12~13-4

③ 海外で生活する日本人の数



(2014年)

【外務省「海外在留邦人数調査統計」】

グローバル化の課題

一方で、外国とさまざまな貿易問題が生じることもあり、国民の経済と生活をどのように守るかということが、重要な課題となっています。

日本のように食料自給率が低く、食料を輸入に依存する度合いが高い国では、食料を輸出している国が不作になれば、たちまちに食料が手に入りにくくなります。食料を安定して供給するために、自給力を強めるなどの対策が求められます。

経済面では、企業が海外へ進出したり、**①** 多国籍企業 (1) の活動が活発になっているため、一国の政府での管理が困難になっています。一つの国が経済危機におちいると、世界的な不況を引き起こすこともあります。また、競争力を高め、ますます

経済面では、企業が海外へ進出したり、**①** 多国籍企業 (1) の活動が活発になっているため、一国の政府での管理が困難になっています。一つの国が経済危機におちいると、世界的な不況を引き起こすこともあります。また、競争力を高め、ますます

す豊かになっている国がある一方で、^{ひんこん}貧困から^ぬ抜け出せない国や競争力を失い豊かさにかげりの出た国もあります。

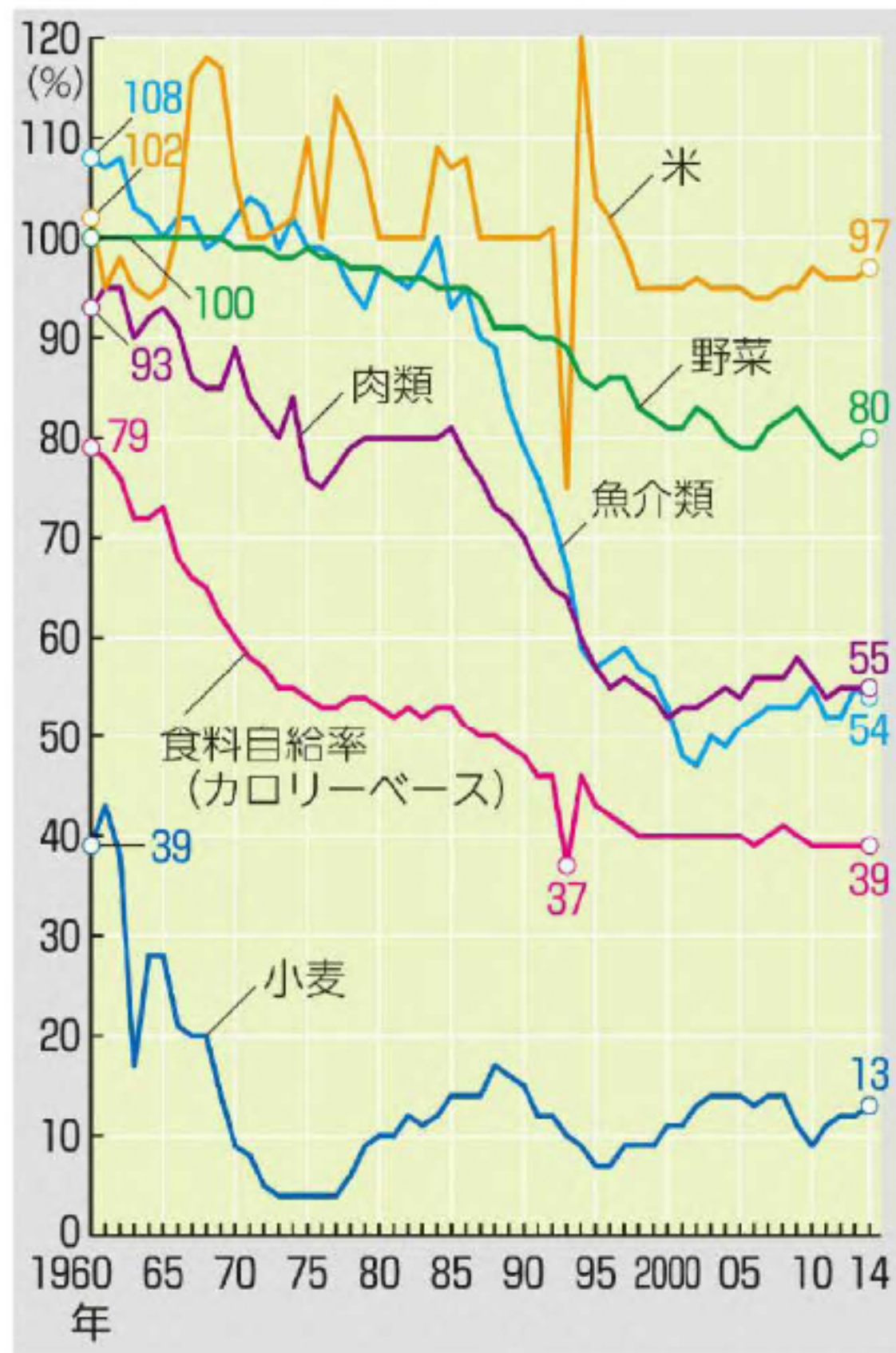
① トヨタ自動車やソニーなど、複数の国家にまたがって工場や研究機関などをもち、世界的に活動している企業のこと。



④ 食料自給率

食べ物が自分の国でどれだけ作られているかを表す数字。国内の食料生産量を国内の食料^{しょうひりょう}消費量で割り、100を掛けた^わ値^か(%)^{あた}い

⑤ 日本の食料自給率の推移



【農林水産省資料】

グローバル 人材の育成

真に望ましいグローバル化とは、国家間の違いがなくなることはありません。異なった国民性をもつ各国の国民が、お互いの文化を認めながらも、相互交流を図るといふ「国際化」(インターナショナリズム)こそが、あるべきグローバル化といえるでしょう。

各国の国民は、それぞれの国の歴史や伝統や文化を踏まえ、アイデンティティー(自分は何者であるかという意識)を確認しつつ、他国との良好な関係を築いてゆく必要があります。そのような資質をもった存在こそグローバル人材といえます。

12~13-9

理解を深めよう



よき国際人であるためには、
よき日本人であれ

私は母校の^{せいしん}聖心という学校で、「日本人」というものを^{てっぺい}徹底して教えられました。講堂で、お^{じぎ}辞儀の仕方をよく練習させられたものです。

大学生のとき、アメリカに留学していた先生がすっかりアメリカ風になって帰国されて、その先生とドアの前で^{いっしょ}一緒になったんですね。

先生が「どうぞ」っておっしゃるの。レディーファーストですね。私たちは男性^{ゆうせん}優先と習っていますから、「いえいえ、どうぞ」と言ったんだけど、「いえいえ、どうぞ」と^{ゆず}譲らないの。私は気が短いものだから、「では」と言って先

12~13-10

に廊下^{ろうか}に出ちゃった。

そうしたらイギリス人のお年寄りのシスターが見ていたらしく、すごく叱^{しか}られた。彼女らが言ったのは「To be international, be national.」ということでした。つまり、よい国際人になろうと思ったら、まずその国の人として立派になりなさいと教えられたんです。

人は一つの国家にきっちりと帰属^{きぞく}しないと、「人間」にもならないし、他国を理解することもできないんです。「地球市民」なんていうものは現実的にあり得ない。むしろそれぞれの違^{ちが}いを承^{しょう}認^{にん}して、相手が困^{こま}ったときに手助けを
するとか、違いを超えて相手を受け入

12~13-11

れられる人がインターナショナルということだと思います。

(曾野綾子^{そのあやこ}著『夫婦口論^{ふうふこうろん}』から抜粋^{ぼつすい})



グローバル化によって、私たちの生活に見られる変化を話し合ってみましょう。

12~13-12